

解説

□ 語学力を高めるために音読訓練は欠かせない。効果的な訓練のために意識すべき点を挙げる。

全般：

- □と舌を大きさに動かす
 - ・【重要】最初はネイティブスピーカーの手本を聞いて、まねる。
 - ・会話をする際、口と舌の動きは音声と同じくらい重要。
日本人にとっては、大きさに動かすくらいでちょうどよい。
- できるだけ速く読む
 - ・音声変化を体験でき、聞き取りもしやすくなる。
- 【重要】流ちょうに話せるようになるまで、何度も繰り返す

単語：

- 発音記号をマスターする
 - ・基本はローマ字読みでよい。発音記号独自の記号を中心に覚える。
【例】 /θ/ と /ð/ (th の音)、 /ʃ/ [シュ] と /s/ [ス] の違いなど
- 発音以上に (第 1) アクセントを意識する
 - ・【重要】アクセントは必ず母音字にある。名詞は最初の母音字にアクセントがくることが多い。
【例】 hotel は [houtél] [ホテル] (名詞では例外的)。
[ホテル] は通じず、[オテウ] は通じる。
- 小さな [ッ] を使わない
 - 【例】 listen は [リッスン] ではなく [リスン]。結果として [ッ] が聞こえると考えよう。

句・節：

- 文の要素 (主語、(述語) 動詞、目的語、補語) と副詞など、意味のまとまりと、その境目を意識する

文：

- 【重要】文の動詞 (述語動詞) を探しながら読む
- 単語ごとに区切って読まない
 - ・区切るときには意味のまとまりで区切る。
- 内容語を強くゆっくり読み、機能語を弱く速く読んで、リズムを出す
 - ・内容語 = 内容的に重要な語 (主に名詞や形容詞など)
 - 機能語 = 文法・語法を機能させるための語 (主に冠詞や前置詞など)

A 演習 1：基本問題 次の発音記号を英文に直しなさい。

- 例 $\int i: s \acute{e}l z s i: \int e l z b a i \delta \theta s i: \int \circ: r$
 (She sells seashells by the seashore.)
1. $\int i: w \acute{o}: k s \theta \acute{o}: r t i m i n \grave{a} t s t \grave{a} w \acute{o}: r k$
 ()
2. $i z \delta \acute{i} s b \acute{u} k w \acute{o}: r \theta r \acute{i}: d i j$
 ()
3. $m \acute{a} i t \acute{f} \acute{a} i l d r \acute{i}: \acute{a} l i l \acute{a} v z d r \acute{i} v i j h \acute{o}: r t \acute{o} i k \acute{a}: r$
 ()
4. $w \acute{i}: h \acute{a} e v \acute{a} l \acute{a} t \acute{e} n r \acute{e} i n d z \acute{u}: n$
 ()
5. $j \acute{u}: j \acute{u} d t r \acute{a} i t \acute{e} i n d z \acute{o} i j \acute{u} \acute{e} r s k \acute{u}: l \acute{a} i f$
 ()

B 演習 2：標準問題 () 内の指示通りにスラッシュを入れ、さらに日本語に訳しなさい。

- 例 Is this backpack / yours? (主語と補語の間)
「このバックパックはあなたのものですか。」
1. Tom painted the wall green. (目的語と補語の間)
「
2. Is this what you've been looking for? (主語と補語の間)
「
3. He buys his daughter anything she wants. (2つの目的語の間)
「
4. The picture used in the newspaper was a faked one. (主語と動詞の間)
「
5. There is nothing to worry about. (主語と動詞の間)
「
6. The fact that the boys were found alive was a relief for the whole country. (主語と動詞の間)
「

解答・解説

演習 1：

1. She walks thirty minutes to work. 「彼女は30分歩いて仕事に行く。」 ※ walk と work の発音の違い。前者は口を大きく開ける音、後者は力を抜いた〈あいまい音〉。
2. Is this book worth reading? 「この本は読む価値がありますか。」 ※ 2つの th 音。/ð/ は声帯が震える〈有声音〉、/θ/ は震えない〈無声音〉。
3. My child really loves driving her toy car. 「私の子どもはおもちゃの車を運転するのが本当に好きだ。」 ※ /tʃ/ (2字で1子音) は [チュ] の〈無声音〉。/dr/ (2字で1子音) は [ドゥル] の〈有声音〉。
4. We have a lot of rain in June. 「6月には雨が多い。」 ※ /æ/ は [エ] の口の形の [ア] の音。/ɑ/ は口を大きく開けた [ア] の音。
5. You should try to enjoy your school life. 「あなたは学校生活を楽しくするべきだ。」 ※ school life の 2つの l (エル) 音が1音になる音声変化。

演習 2：

1. / green 「トムは壁を緑色に塗った。」 ※ SVOC の第5文型。目的語と補語の境目を意識する。
2. / what 「これが、あなたが探していたものですか。」 ※ what 以降は名詞節で、主語 this の主格補語。
3. / anything 「彼は娘に、ほしいものを何でも買ってやる。」 ※ SVOO の第4文型。2つの目的語の境目を意識する。
4. / was 「新聞で使われた写真はねつ造されたものだった。」 ※ used ~ は、名詞 the picture を後置修飾する過去分詞で、動詞ではない。
5. / nothing 「心配することは何もない。」 ※ 〈There is 構文〉は、be 動詞のあとに主語が来る倒置構文。to 不定詞は名詞 nothing を修飾する形容詞的用法。
6. / was 「少年たちが生きて発見されたことは、国じゅうにとってほっとすることだった。」 ※ 〈同格の that〉が導く節を含む長い主語。

【重要】英文は、動詞を探しながら読む。主語は必ず名詞なので、名詞のさまざまな形に慣れることが大切。

年 組 番 氏名

実施日 年 月 日

A	/5
B	/6

検印